

陳情第6号 障害・介護福祉に従事する職員や保育士の人材定着・確保 のため職員配置基準と報酬・公定価格を抜本的に改善し、離職しない 障害・介護・保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情

討論一覧

賛成討論 門原武志 議員

介護職場では夜間でも一人体制でいいとされ、それを前提とした報酬が設定されている。夜間一人体制は職員には負担となり、低賃金もあり、介護職場での離職は多くなっている。保育の現場でも職員配置の規制が緩和され、これまで以上に人材確保が難しくなることが懸念される。また正規と非正規の待遇格差をなくすことも重要だ。賃上げすれば事業者の負担になるとの意見があるが、事業者が賃上げできるように報酬を上げるべきだという本陳情の願意を読み取ってほしい。

反対討論 水川 淳 議員

障害・介護福祉関連の人材確保の課題と、保育サービスに従事する人材の確保の課題はそれぞれ異なり、ひとくくりで確保を求めるのはいささか総花的と言わざるを得ず、意見書提出になじむものではない。今回、同じ陳情提出者から7件もの陳情が提出されているが、総花的な内容にならないように陳情性質が異なる陳情書をそれぞれに提出しているにも関わらず、この陳情だけは、障害・介護福祉と、保育という性質が異なる課題をひとくくり提出しており、大変違和感がある。